

価格内訳

- ・コンサルテーション&診察費 50万円 (20万円+5万円 x 6回分)
- ・手術 (組織採取) 費 40万円

(組織採取 26万円+血清製造費 3万円+保管費 11万円)

- 当院独自の低侵襲組織採取方法により、皮膚切開は小さく、更には採取した脂肪組織を傷つけないため、圧倒的に少ない組織量 (わずか 0.5g) での幹細胞培養が可能です。故に一般的な穿刺吸引法や組織ブロック採取法よりも、侵襲が少なく術後の痛みも少ないのが特徴です。
- より多い量の幹細胞培養を希望される場合には、1g 程度の脂肪組織をブロック採取法により実施する場合があります。
- 2回目以降は血液採取料が6万円必要です

- ・検査費 30万円
(術前血液検査 10万円+心電図・血圧・酸素飽和度モニタリング 10万円+

外来時血液検査 10万円)

- ・細胞培養加工費 (新規三次元培養法)

幹細胞抽出 (初代培養) 30万円 + 100万円 (手作業 1億個)
150万円 (手作業 2億個)
250万円 (自動培養 3億個)
300万円 (自動培養 5億個)

- 本治療では、一般的に実施されているフラスコ底面に細胞を無理に多く増やし、品質の劣化を招きやすいとされる二次元培養方法は行いません。

- ・治療 (細胞投与等) 費 50万円 (1回ごと)

(細胞品質評価費 10万円+調剤・細胞投与 25万円+投与後管理費 15万円)

自己脂肪由来間葉系幹細胞による慢性疼痛治療の価格表①

コンサルテーション&診察費	詳細	20万円+5万円 x 6回分		
	小計	50万円		
手術費（組織採取） ※3、※4	詳細	組織採取 26万円 血清製造費 3万円 血液保管料 11万円		
	小計	40万円		
検査費	詳細	治療前血液検査 10万円 心電図・血圧・酸素飽和度モニタリング 10万円 外来時血液検査 10万円		
	小計	30万円		
細胞培養加工費 （三次元培養） ※5	詳細	細胞抽出(初代培養)		
	小計	30万円		
	詳細	手作業 1億個	手作業 2億個	自動培養 3億個
	小計	100万円	150万円	250万円
治療費（細胞投与）	詳細	細胞品質評価費 10万円 調剤・細胞投与 25万円 投与後管理費 15万円		
	小計	50万円/1回		
合計（税別）		300万円	350万円	500万円 (2回)

※1. 上記には、1年間の組織もしくは細胞の冷凍保管費用が含まれます。

※2. 外国の方は、上記以外にコーディネート費、通訳料等がかかります。

※3. 当院独自の低侵襲組織採取方法により、皮膚切開は小さく、更には採取した脂肪組織を傷つけないため、圧倒的に少ない組織量（わずか0.5g）での幹細胞培養が可能です。故に一般的な穿刺吸引法や組織ブロック採取法よりも、侵襲が少なく術後の痛みも少ないのが特徴です。

※4. より多い量の幹細胞培養を希望される場合には、1g程度の脂肪組織をブロック採取法により実施する場合があります。

※5. 本治療では、一般的に実施されているフラスコ底面に細胞を無理に多く増やし、品質の劣化を招きやすいとされる二次元培養方法は行いません。

自己脂肪由来間葉系幹細胞による慢性疼痛治療の価格表②

組織採取を伴わない価格

コンサルテーション&診察費	詳細	20万円+5万円x6回分		
	小計	50万円		
手術費（組織採取） ※3、※4、※5	詳細	血液採取 6万円 血清製造費 3万円 血液保管料 11万円		
	小計	20万円		
検査費	詳細	治療前血液検査 10万円 心電図・血圧・酸素飽和度モニタリング 10万円 外来時血液検査 10万円		
	小計	30万円		
細胞培養加工費 （三次元培養） ※6	詳細	手作業 1億個	手作業 2億個	自動培養 3億個
	小計	120万円	170万円	270万円
治療費（細胞投与）	詳細	細胞品質評価費 10万円 調剤・細胞投与 25万円 投与後管理費 15万円		
	小計	50万円/1回		
合計（税別）		270万円	320万円	470万円 （2回）

※1. 上記には、1年間の組織もしくは細胞の冷凍保管費用が含まれます。

※2. 外国の方は、上記以外にコーディネート費、通訳料等がかかります。

※3. 当院独自の低侵襲組織採取方法により、皮膚切開は小さく、更には採取した脂肪組織を傷つけないため、圧倒的に少ない組織量（わずか0.5g）での幹細胞培養が可能です。故に一般的な穿刺吸引法や組織ブロック採取法よりも、侵襲が少なく術後の痛みも少ないのが特徴です。

※4. より多い量の幹細胞培養を希望される場合には、1g程度の脂肪組織をブロック採取法により実施する場合があります。

※5. 2回目以降は血液採取料が6万円必要です

※6. 本治療では、一般的に実施されているフラスコ底面に細胞を無理に多く増やし、品質の劣化を招きやすいとされる二次元培養方法は行いません。